

<教育コース>

①認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
（高度の知識・技能を有する認知症チーム医療リーダー医師の養成）
募集大学【金沢大学】【富山大学】【福井大学】【金沢医科大学】

②地域認知症専門医師研修コース（インテンシブ）
（地域医療機関を活動拠点とする医師の認知症専門研修）
募集大学【金沢大学】【富山大学】【福井大学】【金沢医科大学】

③認知症・神経難病の臨床病理研修コース（スペシャル）
（認知症・神経難病の臨床・病理研修）
募集大学【金沢大学】

④地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース（スペシャル）
（地域フィールド研修などの特色ある領域の短期研修）
募集大学【金沢大学】

⑤認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース（スーパーコース）
（卒前卒後一貫教育により高度な研究力を有する認知症スーパープロフェッショナル医の養成）
募集大学【金沢大学】



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

平成31年度

履修案内

各大学連絡先



【金沢大学】

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）運営事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13番1号 金沢大学医薬保健学域医学類B棟2階
e-mail ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp



【富山大学】

医薬系学務課大学院教務チーム
〒930-0194 富山県富山市杉谷2630番地
e-mail mpin@adm.u-toyama.ac.jp



【福井大学】

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）福井事務局
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23番3号
e-mail n-pro@ml.u-fukui.ac.jp



【金沢医科大学】

金沢医科大学教学課（大学院医学研究科担当）
〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
e-mail d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp

認プロの紹介

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)は、超高齢社会を背景に認知症の分野で特に高度な知識・技術を有する医師が求められていることから、ハイレベルの認知症専門医師の育成を目的として設置されたプログラムです。北陸の医科系4大学(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学)が地域医療機関、研究機関、自治体等と連携して実施しています。

教育コースには、認知症チーム医療のリーダーとして活躍できる認知症専門医を養成する「認知症チーム医療リーダー養成コース」(本科コース)を中心に、5つのコースを設置しています。(裏表紙を参照してください)。平成31年2月末日現在、93名が認プロ教育コースを履修しています。

医師以外で認知症に関わる職種(看護師、保健師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、研究者、製薬関係など)の方に対しては、「認知症メディカルスタッフe-learning講座」を提供しており、平成31年2月末日現在、1,737人が受講しています。ウェブ上で視聴することができるため、全国どここの地域からでも好きな時間に受講することが可能です。

認プロでは認知症症例の検討を行うデメンシアカンファレンスを毎月行っております。これらはテレビ会議システムおよびウェブ会議システムで運用されており、全国どこからでも参加が可能です。



認プロ プロジェクトリーダー
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科
脳老化・神経病態学(神経内科学) 教授
山田 正仁

デメンシアカンファレンス

10施設(4大学と連携6病院)をテレビ会議システムで結び、月に一度診断や治療に難渋した症例検討を行う。(遠方の教育コース履修者はWeb会議システムにより参加)



e-learning講義

インターネットを利用し、Web上で講義を視聴する。時間があるときに、全国のどここの地域からも受講が可能であり、何度でも視聴できる。講義科目は確認テストを除き7科目40コマを提供している。



e-learning講座の講義例

認プロ履修者の声



金沢大学
本科コース
山口 浩輝 先生

認プロで特にお勧め出来る点は、デメンシアカンファレンス、FD講演会、e-learningです。デメンシアカンファレンスでは4つの大学と6つの病院をテレビ会議の装置で繋ぎ、リアルタイムで症例検討会(デメンシアカンファレンス)を行うことができます。自科では経験しないような症例も多く、勉強になる点が多いです。FD講演会では、認知症における各分野のプロフェッショナルを外部からお招きして、先ほどと同じくテレビ会議の装置で繋ぎ、講演を聞くことができます。基礎的なことから実践的なこと、将来の展望なども学ぶことができますので、モチベーションが上がります。e-learningでは、認知症疾患の基礎と臨床を専門医の解説付きで詳しく学べます。動画で何度も視聴できますし、最後に試験も付いていますので、日々の臨床に出る前に基礎的な知識を身に付けるために最適だと思います。

私は本来糖尿病専門医です。長年診療していて、かつては血糖自己測定、インスリン自己注射をこなしていた患者達が、そのうち認知症のため出来なくなっていく様子を沢山の山目の当たりにしてきました。とても全員を認知症専門医に依頼することはできません。専門性が高い認知症診療ですが、少しは自分で行おうと思いました。

デメンシアカンファレンスでは沢山の貴重な症例をCPCのような手法で見せて頂きました。一方e-learningでは系統的に知識を学び整理できるようになっています。

私のように非専門医でありながら認知症診療を目指す方達にとても良いシステムと思います。



富山大学
インテンシブコース
石橋 修 先生



金沢大学
スーパーコース
谷口 優 さん

私は金沢大学の神経内科専門医コースを選択し、スーパーコースを履修しております。

私が認プロを受講した理由としては、神経内科医を目指すにあたって学習のモチベーションを保ち、講義では触れる機会が少ない診断に難渋する認知症の症例提示を拝聴することができるからです。

症例提示ではこれまで知らなかった病態や病名、近年同定された遺伝子などを知り、認知症という分野の奥深さを感じました。また、コースを履修することで神経内科の先生方とも仲良くなることができ、疑問点などがあれば先生方が気さくに答えてくれるので学生の方とはとても勉強になると思います。

私が認プロを受講した理由は、日々の認知症の診療に生かすためです。認知症症状を主とする疾患は多くありますが、その中には、嗜銀顆粒性認知症や神経原線維型認知症など神経病理学的研究により見いだされてきた疾患が多く含まれています。また、認知症の臨床症状は非常に多彩であり、臨床診断と最終的な病理診断が異なるということもあります。

認プロでは、急性期の病院と慢性期の病院が連携して、デメンシアカンファレンスを開催しており、そこでは臨床経過とともに病理診断が提示されます。実際に、診療した患者さんが慢性期病院に移ってからどのような経過を辿ったのか、病理診断はどうだったのかを経時的に学ぶことで、日々の認知症の診療の精度が向上していくと考えます。このような、発症から病理診断までを経時的に学べる場として認プロは非常に優れており、普段から認知症の診療に関わっている先生方には是非お勧めしたいと思います。



金沢大学
スペシャルコース
赤木 明生 先生